



漢国神社の拝殿―奈良市漢国町で



漢国神社は593(推

古天皇元年、勅命により
大神君白堤が大物主命
を、その後、717(養老
元)年に藤原不比等が大
己貴命と少彦名命を合
祀し、古くは春日率川坂
岡社と称していました。
本殿は三間社流造(正
面柱間が三つ、屋根が前
に伸びる様式)・檜皮葺で



漢国神社

(奈良市)

桃山時代の建造物です。
神社には大坂の陣の

際、徳川家康が戦に敗れ
境内の桶屋に忍び、九死
に一生を得た伝承があり
ます。家康は後にお礼参
りの参拝をし、鎧一領
「茶糸威胴丸具足」を奉
納。鎧は奈良国立博物館
に寄託され、神社には複
製が置かれています。

また、境内には、日本
で初めて鎧入り饅頭を
伝えた林浄因命を祭る
我が国唯一の饅頭の社・
林神社があります。
林浄因は中国浙江省の
人で1349(貞和5)
年に来朝して漢国神社の
社頭に住み、故国で習い
覚えた饅頭を作り、好評
を博しました。その後、

(住所) 奈良市漢国町2
(祭神) 大物主命、大己貴命、少彦名
命
(交通) 近鉄奈良駅から徒歩約5分、

JR奈良駅から徒歩約15分
(拝観) 境内自由
(駐車場) 有。無料
(電話) 0742・22・0612

家康 敗戦で隠れ命拾い

(奈良まほろばソムリエ
の会会員 鶴田吉範)

〓 次回から木曜に掲載